● ニセ警察官詐欺

令和8年10月15日現在 ※黄色部分を更新

	リユーピーネット発信日	発生地区	被害者	手口	被害額等	事案詳細
1	R7.10.2	福井・坂井	50代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金98万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・逮捕した犯人があなた名義のキャッシュカードを持っていた ・あなたが犯罪に関与した疑いがあり、逮捕状が出ている ・捜査協力費が必要 ・無実を証明するために、あなたの口座内の紙幣番号を調査する と言われ、現金を騙し取られたもの。
2	R7.10.7	福井・坂井	30代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金90万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・あなたの口座が犯罪に利用されている ・あなたも犯罪に関与している疑いがある ・無実の証明のためあなたの口座のお金を確認する必要がある と言われ、現金を騙し取られたもの。
3	R7.10.20	福井・坂井	20代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金86万円	被害者に県外の警察官や検察官を名乗る男性から電話があり ・「詐欺事件の犯人を逮捕したら、あなた名義のキャッシュカードが出てきた」「特例でリモートで事情聴取をする」と言われた ・その後、指定されたSNSのビデオ通話で「逮捕状が出ている」「資金調査をする必要がある」「持っている口座の残高を一つの口座にまとめ、全額を指定した口座に振り込んでください」 などと言われ、86万円をインターネットバンキングで送金したもの。
4	R7.10.22	丹南	30代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金23万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・詐欺グループを取り調べたらあなた名義の口座が見つかった ・あなた名義の口座には被害金9,000万円が入っている ・身の潔白を証明するためには資金調査が必要 ・指定した口座にお金を振り込め と言われ、現金を振り込んだもの。
5	R7.10.24	丹南	30代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金100万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・捜査であなた名義のキャッシュカードが見つかった ・犯罪に加担している疑いがあるので出頭しろ ・逮捕されないためには資金調査が必要 ・指定口座にお金を振り込めば調べることができる などと言われ現金を振り込んだもの。
6	R7.11.6	福井・坂井	30代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金448万円	被害者に県外の警察官を名乗る男性から電話があり ・「あなた名義の口座が勝手に作られ、その口座を利用して悪質なお金を回収している履歴がある。組織の3人があなたの事を仲間だと・言っている」などと言われた ・その後、誘導された無料通信アプリ上で逮捕状の画像を送りつけられ「あなたのお金を調査するため口座から残高すべてを送って下さい」と指示されたうえ、留置場で監視する代わりに最寄りのホテルに宿泊するよう指示された。 ・被害者は指示に従って3日間自宅近くのホテルに自費で滞在し、その間、8回にわたり5つの口座から計448万円を指定された口座に振り込んだ ・振り込む際はネットバンキングのほか、コンビニエンスストアのATMを利用するため外出したが、犯人の指示通り再びホテルに戻っており、被害者が帰宅しないことを心配した家族が警察に通報し、事件が発覚した。
7	R7.11.28	嶺南	70代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	キャッシュカード3枚 現金約200万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・近所で詐欺被害が起きている ・名簿に旦那さんの名前がある ・新しく口座を作る必要がある と言われ、自宅に来た偽警察官に封筒に入れたキャッシュカード3枚を手渡したところ、別の封筒とすり替えられて盗まれ、翌日に現金約200万円が引き出されたもの。
8	R7.12.15	福井・坂井	70代男性性	ニセ警察官・ニセ通信業者詐欺 （電話、SNS）	現金3060万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・「あなたの口座を使って詐欺が行われ、逮捕状が出ている」と言われた ・その後SNSに誘導され、逮捕状の画像が送られてきたため、信じ込んでしまった。 ・さらに、検事を騙る男性から「詐欺に加担していないことを確認するため、全てのお金を調査する必要がある」 などと言われ、6回にわたり計3,060万円を指定口座に振り込んでしまったもの。

9	R7.12.22	嶺南	20代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金34万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・事件であなた名義のキャッシュカードを押収した ・このままではあなたは勾留される ・身の潔白を証明するため財務調査をする ・金融庁の監視する口座にお金を振り込むこと などと言われ現金34万円を騙し取られたもの。
10	R7.12.25	福井・坂井	40代女性	ニセ警察官詐欺 （電話、SNSビデオ通話）	現金100万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・「詐欺グループの主犯の家宅捜索をしたらあなた名義のキャッシュカードが見つかった」「重要参考人として出頭してほしい」などと言われた ・その後、SNSのビデオ通話で警察官から「今後逮捕されるかもしれない」と告げられ、さらに検察官を名乗る男性からも「潔白を証明するために資金調査をする必要がある」 などと言われ、別々の場所のATMから2回に分けて指定口座に送金したもの。 被害者が携帯電話で通話しながら金融機関窓口で送金に関する確認をしたことから、不審に思った職員が警察に通報し被害が分かった。
11	R8.1.9	嶺南	80代男性性	ニセ保健医療局・ニセ警察官詐欺 （電話）	現金2139万円	被害者に保健医療局の職員を名乗る男性から連絡があった後、警察官や検事を名乗る男性らに代わり、ビデオ通話に誘導された。 ・「あなた名義の口座が悪用されている」「このままだと犯人になり、資産を差し押さえることになるため、一度こちらでお金を預かる必要がある」 などと言われ、男性は指定された口座に、5回にわたり現金合わせて2139万円を振り込んだもの。 その後、男性らと連絡が取れなくなり不審に思った被害者が警察に相談し被害が発覚した。
12	R8.1.15	県内	50代女性	ニセ通信事業者・ニセ警察官詐欺 （電話）	現金150万円	被害者に通信事業者や警察官を名乗る者から電話があり ・電話が2時間後に停止する ・あなたの携帯電話が犯罪に使われている ・身の潔白を証明するため紙幣番号を追跡する ・口座のお金を下して家の外に置け などと言われ、自宅に来た者に現金150万円を騙し取られたもの。
13	R8.1.19	嶺南	80代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金500万円 金地金2200万円相当	被害者に警察官や検察官を名乗る者から電話があり ・「金融犯罪の被害金の一部があなたの口座に振り込まれている可能性がある。カネを確認する必要がある。カネは後で返す」などと言われた ・その後、男性の自宅にはスマートフォンが届けられ、ATMや銀行窓口で現金500万円を引き出すよう指示された上、約2200万円相当の金の延べ棒5本を購入するよう指示された ・その後、指定された場所に購入した金などを置いたところ、受け子とみられる人物に持ち去られたもの。 連絡が途絶えて返金されないことを不審に思った被害者が警察に相談し、今回の事件が発覚した。
14	R8.1.20	嶺南	30代女性	ニセ警察官詐欺 （電話、SNSビデオ通話）	現金160万円	ニセ警察官から、電話やSNSのビデオ通話を通じて ・「犯人があなたのキャッシュカードを買ったと言っている。あなたも犯人に浮上している」などと言われ、事情聴取を目的にSNSを使ったビデオ通話に誘導された。 ・その後、画面越しに男性から警察手帳を見せられ「被害者が振り込んだお金を見つける必要がある。今から言う口座にお金を振り込むように」 などと言われ、指定された口座に2回に分けて、現金合わせて160万円を振り込み、だまし取られたもの。 男性から「体にタトゥーが入っているか見せてくれ」などと言われたことで不審に思い、警察に相談したことで被害が明らかになった。
15	R8.2.11	福井・坂井	40代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金628万円	被害者にニセ警察官から電話があり ・「男性を逮捕したところあなた名義のキャッシュカードがあった。あなたには犯罪収益隠匿罪の容疑がかかっている」と連絡があった。 ・その後、検察官を名乗る男性から調査の名目で男性の口座の預金を全額送金するよう求められ、男性は指定された口座に銀行アプリで現金628万円を送金し騙し取られたもの。 その後、男性らと連絡が取れなくなったことから不審に思った男性が警察に相談し被害が発覚した。
16	R8.4.13	福井・坂井	70代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	金地金約3200万円相当	被害者は、警察官を名乗る男から自宅固定電話やスマートフォンの交流サイト（SNS）の通話機能を通じて「あなた名義の口座がマネーロンダリング（資金洗浄）に利用されている可能性があり、口座のお金を調査する必要がある」「定期預金を解約して金地金に換えてください」などと言われた。 指示通り、貴金属業者から金の延べ棒5本（計1.3キロ、購入金額約3200万円）を購入し、袋に入れて自宅敷地内の指定場所に置いたところ、何者かに持ち去られたもの。 男から延べ棒を後日返してもらう約束だったが、返ってこないため不審に思い、警察署に相談し被害が分かった。
17	R8.4.20	福井・坂井	50代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金780万円	被害者は、大手銀行の行員を名乗る人物から電話で「広島県であなたの口座が開設され詐欺に使われている」などと伝えられた後、広島県警の警察官を名乗る男から「被害届を受理する」と電話との電話を受けた。 その後、この警察官や検察官を名乗る男らと通信アプリでやり取りをする中で、資金調査の名目で大手銀行の指定口座に現金を振り込むよう指示され「調査が終わったら返金する」と言われたため、通話をつないだ状態でインターネットバンキングを利用し現金780万円を指定された口座に振り込んだもの。 通話を終えた後、被害者は着信が国際電話であることに気付き、詐欺を疑って広島県警に確認の電話をしたことから被害が発覚した。 被害者は詐欺の手口は知っていたが、矢継ぎ早に警察官や検察官を装った男らから指示され「冷静さを失った」とのことであった。

18	R8.5.12	福井・坂井	70代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	1200万円相当の暗号資産	被害者宅の固定電話に警察官を名乗る人物などから連絡があり、その後、LINEで検察官を名乗る男など複数の人物とやりとりが行われた。 その際、LINEで「身の潔白を証明できなければ預金を凍結して即逮捕する」などと言われ、被害者は指示に従って暗号資産のアプリをダウンロードし、3回に分けてあわせて1200万円相当の暗号資産を指定されたアドレスに送金したもの。 被害に気付いた男性が警察に相談し被害が発覚した。
19	R8.5.15	嶺南	60代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金約1億9000万円	被害者の携帯電話に「＋」で始まる国際電話で警察官をかたる男から電話があり「犯人があなた名義の携帯電話を使用していた。あなたにも犯罪に加担した疑いがかかっているため紙幣番号を調べる必要がある」などと言われLINEに誘導された。 その後、警察官をかたる男はLINEを通じて暗号資産取引所に指定したIDとパスワードで口座を開設するよう指示を受け、さらにその後、検事を名乗る男も登場し、開設した暗号資産取引所の口座に金を振り込むよう指示された。 被害者はこれを信じて約2カ月の間に18回にわたり自身の銀行口座から開設した暗号資産取引所の口座に現金合わせて約1億9000万円を振り込み、騙し取られたもの。 最終的に被害者は、検事を名乗る男に返金をせまったところ、「返金にはさらに2400万円が必要だ。お金がないなら家を売ればいい」と要求されたことから、恐怖を感じて警察に相談し被害が発覚した。
20	R8.5.25	福井・坂井	80代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金約2600万円	被害者宅の固定電話に、東京の警察官をかたる男から電話がかかってきて「あなたの口座からお金を下ろしている人がいる」「お金を使われてしまうので、口座から引き出してください。預かります」などと言われ、被害者は男の話を信じ、銀行の口座から現金約2600万円を引き出し、3回に分けて自宅敷地内の指定された場所に紙袋に入れて置いたところ持ち去られたもの。 被害者は男を本物の警察官だと思い込み「このことは誰にも話してはいけない」と口止めされていたため、現金を下した銀行で行員から「詐欺ではないか？」と尋ねられたものの「大丈夫です」と答えており、男から「お金は裁判所で預かっている。5月中旬に返す」と言われていたが連絡が取れなくなったため警察署に相談し被害が発覚した。
21	R8.5.27	県内	30代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	暗号資産約400万円	被害者の携帯電話に「＋」から始まる電話番号で着信があり、郵便業者をかたる男から「発送した郵便物にキャッシュカードなどが入っていた。何らかの被害にあっているかもしれないので警察につなぐ」と言われた。 その後、警察官をかたる別の男から「犯人があなたの口座に金を振り込んだと言っているので、口座を調べる必要がある」などと言われ、指定された暗号資産取引所に口座を開設し、5回にわたって暗号資産およそ400万円を送金してだましとられたもの。 最終的に警察官をかたる男と連絡が取れなくなったため、被害者は警察に被害届を提出した。
22	R8.6.5	福井・坂井	30代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金約570万円	被害者の携帯電話にクレジットカード会社を名乗る男から「あなたのカードの使った分の支払いができていない。警察に事情を説明してほしい」と連絡があった。被害者が男から聞いた電話番号に連絡すると、長野県警を騙る男女からショートメッセージで警察手帳の画像などを見せられ、ビデオ通話アプリのフェイスタイムを通じて「クレジットカードが不正利用されている」「1人になれる場所に行きましょう」などと言われた。 その後、福井市内のホテルやネットカフェで宿泊するよう指示があり「保釈保証金制度のためのお金を用意しなければならない」「事件が解決すれば返す」などと言われ、福井市内と東京都内から2回にわたり現金をインターネットバンキングで振り込んだもの。 相手方から「返金のため福井署で会いましょう」と指示され、福井署に行ったところ被害が発覚した。
23	R8.7.3	福井・坂井	70代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金約550万円	被害者の自宅の固定電話に警察官や検察官をかたる人物から「あなた名義の銀行口座が犯罪に使用されている」などと電話があった。 電話のやりとりの中で「このままだと逮捕される」などと脅され、被害者はキャッシュカードの暗証番号や自宅の住所を犯人に教えた上で、犯人に指示された通り、自宅敷地内の鉢植えの下に通帳2通とキャッシュカード2枚を入れた封筒を置いた後、何者かに持ち去られたもの。 その後、被害者の口座に入っていた現金約550万円が8日間に分けて引き出され、連日の高額な出金を不審に思った金融機関から女性に連絡があり被害が発覚した。
24	R8.7.7	福井・坂井	70代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	暗号資産 約1億100万円相当	被害者宅の固定電話に電話通信会社の社員をかたる男から電話があり「検事から電話があります」などと言われ、携帯電話番号を教えたところ、検事や警察官を名乗る男から連絡があり「犯罪の疑いがある」と言われた。被害者はコンビニに誘導され、コピー機で「特定秘密保持誓約書」などの書類を印刷させられ、本物の検事と信じ込まされた。 後日、男らから「口座売買の疑いがある」「このままだと、金融資産を全て差し押さえる」「紙幣監査のため、口座のお金を確認するので送ってください」などと言われ、インターネット銀行や暗号資産用の口座を開設し、22回にわたり、指定されたアドレスに暗号資産を送金したもの。 送金後に確認した現金預かり証に違和感を覚え、警察署に相談し被害が発覚した。
25	R8.7.12	福井・坂井	10代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金約88万円	被害者の携帯電話に警察官をかたる男から「家宅捜索であなたのキャッシュカードが見つかった。犯人はあなたから手渡されたと言っている」などと連絡があり、口座の金を送るよう指示された。 被害者はLINEで指示を受けながら、複数回にわたって指定された口座に現金を振り込み、約88万円をだまし取られたもの。
26	R8.7.15	丹南	70代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	暗号資産 約6000万円相当	被害者は、郵便局の職員をかたる男から「あなたが送付した荷物の中に現金が入っていた」などと自宅の固定電話に連絡を受けた。 その後、LINEに誘導され、ニセの警察手帳を見せてきた警察官をかたる男からビデオ通話で「紙幣を調査する必要があるため調査用の口座に現金を移動させてほしい」などと言われ、指定されたアドレスに3回にわたり計6000万円相当の暗号資産を送金したもの。 送金後に、警察をかたる男から「お疲れ様です。これは詐欺です」とメッセージが届いたことから男性が警察に相談して事件が発覚した。

27	R8.7.21	丹南	60代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金505万円	被害者の携帯電話に国際電話があり「日本郵便職員」を名乗る男から「中国に荷物を送っていないか」などと電話を受け、その後、警察官や検事をかたる男らに、マネーロンダリングに関わっている可能性があると伝えられ、「あなた名義の口座に犯罪資金がないか捜査するため」などと現金を求められ、自身の銀行口座から2回にわたり計505万円を振り込み、だまし取られたもの。 被害者はLINEのビデオ通話で画面共有をしながら普段から使用している金融機関のアプリを使って送金させられた。
28	R8.7.21	福井・坂井	50代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金50万円	被害者は、郵便局のカスタマーセンターをかたる男から自宅の固定電話に「荷物の中にキャッシュカードと現金200万円が入っていた」と連絡を受け、男から「被害届を出した方がいい。これから警察につなぐ」と言われ、警察官をかたる男と携帯電話でのやり取りを始めた。 その後、LINEのビデオ通話で逮捕状の画像などを見せられ「あなたのゆうちょ銀行の口座が特殊詐欺に使われている。身の潔白を証明するために銀行のお金を確認したい」「金融庁の専門の人が調べるのでお金を送ってください」などと持ち掛けられ、指定された銀行口座に現金50万円を振り込み、だまし取られたもの。
29	R8.8.5	奥越	60代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金300万円	被害者は、自宅の固定電話に国際電話で郵便局員を名乗る男から「ベトナムに荷物を送っていないか」と連絡を受けた. その後も、警察官を名乗る男から電話やLINEを通じで「別の事件のアジトにあなた名義の通帳があった」「お金を私的に流用していないか紙幣番号で調べる必要がある」などと伝えられ、被害者は犯人らに指示された口座に2回に分けて合わせて300万円を振り込んで、だまし取られたもの。
30	R8.8.14	福井・坂井	70代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金100万円	被害者は、自宅の固定電話に「あなたが送った荷物から多数の通帳やパスポートが見つかった」と郵便局員をかたる男から連絡があり「京都の郵便局まで取りに来て欲しい。来られないなら警察に連絡する」と脅された。 続けて警察官をかたる男から「あなたに詐欺の疑いがある」と言われ、無実を証明するためには銀行口座のお金を調べる必要があり、LINEでやり取りが必要だとしてスマートフォンへの機種変更を要求された。 女性が指示されるままスマホに機種変更したところ、逮捕状のような画像が送られてきたことから相手が警察官と信じ込み、2回にわたり指定された口座に現金100万円を振り込みだまし取られたもの。
31	R8.9.11	福井・坂井	80代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金250万円	被害者宅に警察官や検察官をかたる男らから電話があり「三菱UFJ銀行から引き出された4000万円を預かっているのではないか。このことは暴力団にも伝わっており、家族にも被害が出る可能性がある」と口外しないよう言われた。 さらに男らは「農協で不祥事が起きたので、現金の紙幣番号を確認する必要がある」などとして、被害者に5日間で合わせて250万円を下ろすよう指示。「今からお金を取りに行くので玄関前に封筒を置いて欲しい」と言われ、被害者が指示通り現金250万円を封筒に入れて自宅の玄関前に置いたところ、持ち去られたもの。
32	R8.9.28	丹南	30代男性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金189万円	被害者の携帯電話に070で始まる番号から電話があり、警察官をかたる男から「逮捕した犯行グループがあなた名義のキャッシュカードを持っていた」などと言われた。 その後、被害者はLINEのビデオ通話に誘導され「あなたに逮捕状が出ている。家族や職場の人には絶対に言ってはいけない」と脅され、資金調査の名目で全財産を指定口座に振り込むよう指示され、2回にわたり指定された口座に計189万円を振込送金し、だまし取られたもの。
33	R8.10.6	嶺南	20代男性性	ニセ警察官詐欺 （電話）	暗号資産 114万7000円相当	被害者の携帯電話に「050」で始まる番号から連絡があり、警察官をかたる男から「詐欺事件の振込先口座があなた名義になっており、調べるために仮想通貨の取引をして欲しい」と言われ、やり取りをする中でメールアドレスを聞き出され、偽の勾留状などの画像が送られてきたことから、相手を警察官と信じ込んでしまった。 被害者が相手方に現金がないことを伝えると、消費者金融で金を借りるよう指示されたため、借入金で暗号資産を購入し、相手方の指示に従って2回にわたり計114万7000円相当の暗号資産を指定されたアドレスに送金し、だまし取られたもの。 後になって、銀行から取り引きの内容を確認されたことから不安に思い、警察に相談し被害が発覚した。
34	R8.10.8	奥越	30代女性	ニセ警察官詐欺 （電話）	現金200万円	被害者の携帯電話に「090」から始まる番号から連絡があり、警察官をかたる男らから「あなたに逮捕状が出ている。罪名は犯罪収益隠匿罪である」と言われた。 その後、オンラインで取り調べをするとして誰もいない場所へ移動するよう指示され、インストールさせられたビデオ通話アプリで偽の警察手帳を見せられ、さらに「男を逮捕した際、家の中からあなた名義のキャッシュカードが出てきた。あなたから買い取ったと言っている。あなたも共犯者として逮捕状が出ている」として偽の逮捕状を見せられたうえで「罪を認めなければ本当に逮捕する。免れるためには検事に頼んで任意捜査にしてもらうように」と言われた。 続いて検察官をかたる男から「あなたの口座に入っている紙幣の識別番号を金融調査機関で確認するため指定の口座に振り込んで欲しい。問題がなければすべての紙幣は返却する」と言われたため、女性は3回にわたり指定された銀行口座に計200万円を振り込みだまし取られたもの。 被害者が職場の上司に相談したところ、詐欺の可能性を指摘されたため警察に相談し、被害が発覚しました。